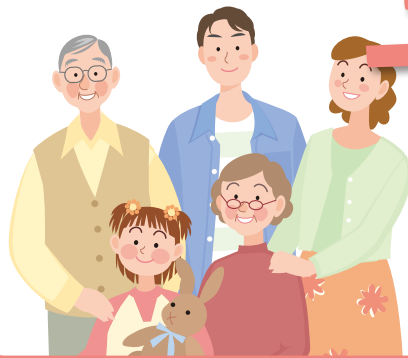


# 笑顔のひろば



vol. **29**

2015年春号

川崎協同病院  
広報誌

<http://www.kawasaki-kyodo.jp>

## オープン検査始めました

～利用しやすい病院を目指して～

当院では、地域の医療機関から依頼を受けて検査を行う共同機器利用制度（オープン検査）を昨年から始めました。検査種類は、CT（単純）、MRI（単純）、一般撮影、骨密度の4種です。

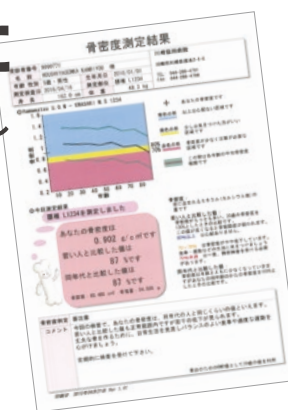
オープン検査とは、患者さんが日ごろかかりつけの医療機関ではできない検査を当院の検査機器を利用し、その医療機関に代わって画像検査を行うものです。

申込から受診の流れは右表の通りです。患者さんは改めて当院の外来診察を受ける必要はなく、検査予約日に来院すれば検査のみを受けられます。当日検査のご予約については相談に応じます。

検査結果の画像データと読影レポートはかかりつけの先生に渡します。また、画像のみであれば、当日患者さんに渡すことができます。

地域の医療機関とより良い連携をとり、地域の皆さんの健康を守るために、昨年からはじめることとなりました。

地域連携室 看護師長 鍵屋 真理



骨密度測定の様子（右）と結果レポート（左）

《申し込みをされる医療機関の方は以下の方法でお願いします》

①検査予約専用コールセンターにお電話ください。

**TEL : 044-270-5133**

※受付時間 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:30

※コールセンターは院外診療所にあり、

「協同ふじさきクリニックコールセンターです。」と応答します。

※オペレーターが検査内容・院所名・ご連絡先・ご担当者様名を確認します。

※MRI以外は当日検査にも対応いたします。お気軽にご相談ください。

②所定の『診療情報提供書』を地域連携室までFAXしてください。

**FAX : 044-266-2119**

※検査予約票・診療情報提供書はホームページからダウンロードできます。

<http://www.kawasaki-kyodo.jp>

③患者様に『検査予約票』と『診療情報提供書』の原本をお渡しください。

※『検査予約票』『診療情報提供書』『保険証』を当日お持ちいただく様、ご案内下さい。

④検査結果を検査依頼医師までお届け、またはご郵送いたします。

《検査種類・画像および結果の媒体・読影レポートの有無・費用目安》

検査種類	画像・測定結果	読影レポート	費用目安（3割の場合）
CT（単純）	CD-R / フィルム	有	4,500 円
MRI（単純）	CD-R / フィルム	有	6,900 円
一般撮影	CD-R / フィルム	-	撮影数による
骨密度（腰椎 / 股関節）	紙	-	1,350 円

# 高次脳機能障害「すばるの会」発足 病院スタッフが患者家族と一緒に



高次脳機能障害って何ですか？

仕事をしていてよくされる質問です。それほどまだ一般になじみのない言葉ですが、高次脳機能障害とは、脳血管障害や脳外傷による脳の損傷によって日付や場所が分からない、物事をすぐに忘れてしまう、集中力がない、言葉が話せないなどの症状がでる障害です。

しかし、多くの患者さんが症状の自覚がないため、社会に出た際に戸惑うことが多いようです。そんな方々が当院の回復期リハビリテーション病棟にはたくさんいます。退院に向け、訓練や支援をしている際に、家族からも「高次脳機能障害とは何ですか？」と聞かれるほどです。

この障害はまだ社会的な認知度が低く、特に当院のある川崎南部地域では障害者の自立支援施設も家族会もなく、本人・家族の拠り所・居場所を築くことが難しい状況です。そこで「本人や家族の居場所を作りたい」と考え、ソーシャルワーカー・リハビリスタッフ・看護師が家族と協力して家族会を設立することになりました。

設立にあたり、現状の退院支援での問題点やどんな家族会にしていきたいかを話し合い、他の家族会を見学し、協力してもらえる家族へ声をかけました。テーマは、“家族の思いを話せる・聴く・共有できる”です。



第2回家族会の際に記念撮影。スタッフもご家族と一緒に頑張ります。

第1回の家族会を今年1月に開催、17人の参加者と、以前見学に行ったよその家族会の代表者を招いて交流会を行いました。交流会では、退院後の生活での悩みや、入院時よりよくなって嬉しかったことなど多くの話を聞くことができました。話し足りなかった方もかなりいたようです。

私自身、退院後の家族の話を聞く機会が少ないため勉強になりました。限られた時間での交流会でしたが、参加者からは「参加して良かった」、「悩んでいるのは自分だけではないと知った」、「また参加したい」といった感想が聞かれました。また、入院中の患者さんの家族からは「経験者の話を聞いてよかった」といった意見も聞かれました。

第2回の家族会は4月16日に開催しました。百合ヶ丘障害者センター在宅支援室の人に来てもらい、家族向けのミニ講座と交流会を行いました。テーマは高次脳機能障害の理解と支援についてです。

このとき家族会の名前も「すばるの会」と決まりました。「すばる」とは“1つに統合する・まとまる”という意味です。また、牡牛座にあるプレアデス星団という星の集まりの名称でもあります。それぞれ輝く星を統合し、みんなで団結していければと思います。

今後は4カ月に1回の開催を計画中です。始まったばかりで運営スタッフ、家族ともに学びながら進めている段階です。様々な意見をうかがいながら、多くの人の居場所となれるよう家族とともに作っていきたくと考えています。

リハビリテーション科 作業療法士 山岸 直子



運営委員で打合せの合間にハイ・チーズ！



新年度に入り、川崎医療生協に 37 人の NEW FACE が入職しました。川崎協同病院には初期研修医 3 人を含む 34 人が赴任しました。

各職種から代表で一人ずつ横顔を紹介します。

(医局事務室 医学生担当 木下博志)

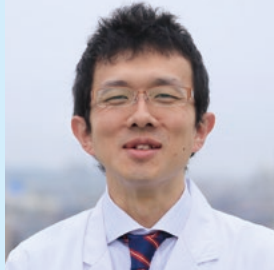
### Question

- ①この仕事を選んだ理由
- ②川崎協同病院を選んだ理由
- ③趣味 or 特技
- ④休日の過ごし方
- ⑤今年度、仕事以外で新しくチャレンジしようと思っていること
- ⑥地域の皆様へ一言



2015 年度新入職員集合写真

- ①月並みですが、医師は人の役に立つ仕事であると思ったからです。
- ②病院を選ぶにあたって、複数の病院を見学しました。その中で、川崎協同病院を選んだのは分からないことをすなおに分からないと言えそうな雰囲気があったことと、病気だけでなく人を診ることが根付いていると感じたからです。
- ③身体を動かすことが好きですが、何をやっても長続きしないので、趣味といえるものは特にありません。
- ④家でゆっくり過ごすことが多いです。
- ⑤仕事に慣れてきたら何か楽器を始めたいです。
- ⑥この 4 月に川崎に引っ越してきました。なので、川崎がどういったところか今の段階では分かりませんが、休みの日には出かけたり、歩いたりして、川崎がどういった町なのか、川崎協同病院がどんなところにあるのかを自分なりに見てみたいと思っています。皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



すずき まさし  
鈴木 正史  
(医師)

- ①高3の夏、やりたいことを見つけれず迷っている時、親から看護学校を勧められました。先生方からの熱心な指導と、同じ目標を持つ仲間が存在で、看護に対してのやりがいを感じ、看護師になりたいと強く思うようになりました。
- ②“命は平等である”という理念に共感し、民医連の病院で働きたいと強く思っていました。自分の理想の看護を模索する中で、川崎協同病院の和田先生の講演で“あきらめない”“命に差別はない”医療に強く共感しました。病院見学では患者さんとの距離の近さや雰囲気の温かさが印象的でした。地域の人々のニーズに応える看護に魅力を感じ、『この病院で働きたい!』と強く思い、決めました。
- ③友人に誘われ、ダイビングをした時に、きれいな海と美しい魚に感動しました。はまりそうです・・・。
- ④一人暮らしを始めたので、家事や部屋の片付けをしています。あとは友人とショッピングやご飯に行ったりします。
- ⑤運動不足なのでヨガやサーフィンなどの運動にチャレンジしたいです。
- ⑥地域の方々に寄り添い、信頼される看護師になれるように努力します。よろしく願い致します。



すだ 砂田 ゆめ  
砂田 ゆめ  
(看護師)

- ①人と関わることのできる仕事がしたいと思っていたからです。小さい頃から漠然と福祉関係の仕事がしたいと思っており、ボランティアなどを行っている中でこの仕事を知りました。看護や介護のように直接お手伝いをするわけではありませんが、生活に不安を持つ方々のお話を聞いて寄り添うことのできる仕事だと思い、惹かれたので選びました。
- ②様々な機関と深くつながりを持っており、また、地域の方々の生活を一番に考えている病院だと思い、魅力を感じたからです。
- ③映画鑑賞、写真を撮りにいくこと
- ④友人と出かけたり、家でのんびりしたりしています。
- ⑤今年度は積極的に体を動かす機会を作って体力をつけたいと思っています。
- ⑥これからたくさんの方のことを学びながら頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。



こじょう ゆみえ  
古城 友未絵  
(ソーシャルワーカー)

- ①大好きだった祖母が老健に入所し、祖母に会いに行くことが多くありました。その時楽しそうにリハビリをしている祖母の姿を見て、理学療法士っていいなと思ったのがきっかけでした。
- ②説明会や面接を受けた際の職員さんの対応が良かったことが印象に残りました。また地域密着で地域住民を大切にしていることが特別に感じました。
- ③サッカー(フットサル) 卓球 将棋
- ④友達とお酒を飲んだり、BBQ をしたりして過ごします。今後は定期的にフットサルなどに参加したいと思います。
- ⑤国家試験の勉強などで体重がかなり増えてしまったので、運動を行い引き締まった体づくりにチャレンジしたいです。
- ⑥これからも理学療法を学び続け、一人でも多くの患者さんの身体や気持ちを支えられるセラピストになりたいです。



こでら よしや  
小寺 慶弥  
(理学療法士)



## ～抱え込む前に、 気軽に相談に乗れる機関～ あいせん児童家庭支援センター

あいせん児童家庭支援センター（以下支援センター）は、川崎協同病院から自転車で5分ほどの住宅街の一角にあります。神奈川県社会福祉事業団が県内で運営するいくつかの施設のうちの一つですが、川崎市内では支援センターの所属する児童養護施設と保育園2園を運営しています。

昨年の9月に開設したばかりで、建物も新しく開放感のある明るいつくりになっています。児童家庭支援センターとは、児童福祉法で定められたもので、児童福祉施設に附置されて相談援助事業を行います。

子育てや家庭の悩みを一緒に考えながら、問題解決のお手伝いをします。気軽さ、柔軟さ、迅速さを基本に高い専門性を活かし、地域の関係機関と連携しています。

2014年には児童家庭支援センターが全国で100カ所を超えて設置されています。川崎市内では、現在4カ所設置されています。対象は、0歳～18歳までの本人と家族・関係機関です。

ここには、ソーシャルワーカーと臨床心理士がいて、専門性の高い支援を行っています。自治体によって役割は異なりますが、川崎市では主な業務として①来所・電話相談を中心とした相談業務②里親養育相互援助事業③子育て短期利用事業④子育て講座の開催といったものがあります。

支援センターでは、①の相談業務としては、言葉の遅れや食事摂取、発達に関する相談や、不登校などに関する相談が多いそうです。子どもさんご本人からの相談もあります。②里親養育相互援助事業としては、里親さんからの相談を受けたり、里親会の場所提供や支援をするといった役割があります。現在はまだ実施されていませんが、今後展開をしていくそうです。③子育て短期利用事業は、保護者の病気や出産、育児疲れ、冠婚葬祭、出張、事故な



きれいで安全なプレイルーム

どにより、ご家庭で一時的に子どもの育児が困難な場合に、原則7日以内でお預かりする事業です。日中のお預かり（デイステイ）と宿泊でのお預かり（ショートステイ）があります。この事業についても、今後展開をしていく予定で準備しています。④子育て講座等の開催については、「子育てカフェ」や、地域子育て支援センターや家庭教育学級での講座開催などを行っています。

支援センターの本橋さんが、「親だけでなく子ども自身が悩みをため込まず気軽に相談に来られる機関にしていきたい」「少しでも、ご本人たちの困り感が軽減できるようなかわりがしたい」と話していたのが印象に残りました。

### ●川崎協同病院へひとこと・・・

出産前から含め子育てに悩んでいる方がいたら、各種イベントへのお誘いや相談に繋いでくれたらありがたいです。これからも密に連携をお願いします。

### ●おじゃまして・・・

困ったときに行政とは違う立場で、専門職種がいて安心して相談できる機関が身近にあるのは、地域にとっても貴重な存在だと感じました。

社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団  
あいせん児童家庭支援センター  
担当課長 本橋 まり 氏  
川崎市川崎区浜町2-22-16  
総合児童福祉施設あいせん内1F  
TEL：044-201-4772



スタンドグラスが印象的な外観

## 広報係 の ひとりごと



### 「妖怪ウォッチ」に時の流れを感じた話

最近、よく見かけるようになったのが、「妖怪ウォッチ」というもの。コンビニでおにぎりを2つ買うと、そのクリアファイルがもらえたり、職場の看護師さんから関連グッズをもらったりすることがありました。

この「妖怪ウォッチ」ですが2013年7月にゲームが発売され、2014年1月からテレビアニメが放送されて、瞬間に大人気となりました。2014年12月に公開された『映画 妖怪ウォッチ 誕生の秘密だニャン!』は、公開2日間の興行収入が16億円を越え、東宝映画史上最高記録を更新したようです。

もはや社会現象ともいえる人気ぶりです。確かにかわいいです。しかし、私は「妖怪」っていうところに違和感を覚えます。「妖怪」といったら、漫画家の水木しげる先生の「ゲゲゲの鬼太郎」の世界観とキャラクターのイメージが自分の中にあるからでしょう。今の子供たちにとっての妖怪といったら、こういう感じになるのかもしれませんが。生まれてきた時代によって、同じ言葉でも、そのイメージは変わるものなのかもしれません

医事課 今藤 直之

